

事故ゼロも夢じゃない

新しい誤薬事故防止対策

—絶対なくそう「取り違え誤薬」—

Safe Care 株式会社 安全な介護
www.anzen-kaigo.com

1. 誤薬事故防止対策の現状

《1》 誤薬事故が起きたら

▶ こんなことが繰り返されていませんか？

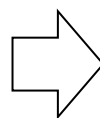
また誤薬事故が起きました。職員が認知症の山田さんに山野さんの薬を飲ませしまったのです。誤薬した職員はマニュアル通りに服薬確認を行いましたでしたが、他の利用者の薬を服薬させてしまいました。施設長は「**確認は何度も念を押して行うこと**」と厳しく指導しました。



利用者の氏名を声に出して読み上げ、職員二人でダブルチェックする

誤薬事故の原因

職員の不注意



再発防止策

注意深く確認する

《3》 誤薬事故防止対策の問題点

▶ 職員のミスが原因と大雑把に考えている

- 事故原因⇒「確認ミス」「注意力不足」「集中していなかった」「散漫だった」「忙しかった」
- 防止対策⇒「ダブルチェックの励行」「落ち着いて確認」「集中して確認」「注意深く確認する」



またやっちゃった..



これからはもっと注意して..

▶ 服薬チェックのマニュアルが機能していない

- 「声に出して氏名を読み上げ」⇒氏名を読み上げても本人確認はできない
- 「薬袋の氏名を二人で確認」⇒薬袋の氏名が間違っていたら？



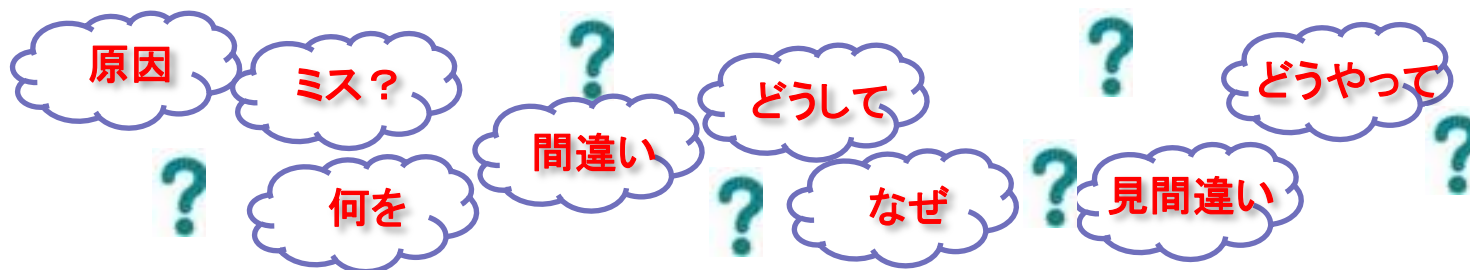
利用者の氏名を声に出して読み上げ
職員二人でダブルチェックする



声に出して読み上げたのに二人で間違えた

▶ 誤薬の原因分析をしていない

- 何を間違えたのか？⇒何を確認したら良いのか？
- どのように間違えたのか⇒どのように確認したら良いのか？



2. 誤薬事故の分析と仕分け

《1》何を間違えたのか？（間違いの対象による区分）

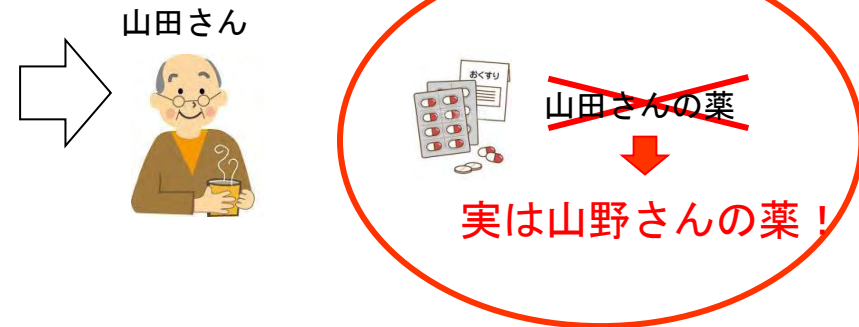
▶ 何を間違えたのか？間違いの対象は2種類

山田さんに山野さんの薬を飲ませた⇒結果だけみれば同じ誤薬でも…

○薬の取り違え

「山田さんに山田さんの薬を飲ませたと思ったら、間違えて山野さんの薬を飲ませてしまった」

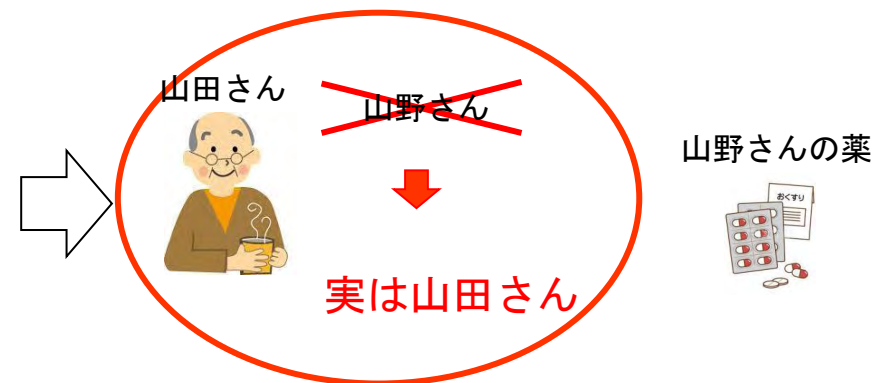
⇒薬の確認ミス



○人の取り違え

「山野さんに山野さんの薬を飲ませたと思ったら、間違えて山田さんに飲ませた」

⇒人の確認ミス

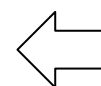


▶ どちらの間違い方が多いのか？

《4》 誤薬事故の集計方法

○ 誤薬事故の集計の方法

施設名	件数(入所)	件数(短期)
A 特養	3件	5件
B 特養	3件	4件
C 特養	2件	5件
合計	8件	14件



取り違い誤薬と飲み間違い誤薬を区分していない

施設名	件数(入所)		件数(短期)	
	取り違い	飲み間違い	取り違い	飲み間違い
A 特養	0件	3件	2件	3件
B 特養	1件	2件	3件	1件
C 特養	2件	0件	4件	1件
合計	3件	5件	9件	5件

重点ポイントが見えてくる



集計方法によって施設の評価が変わる



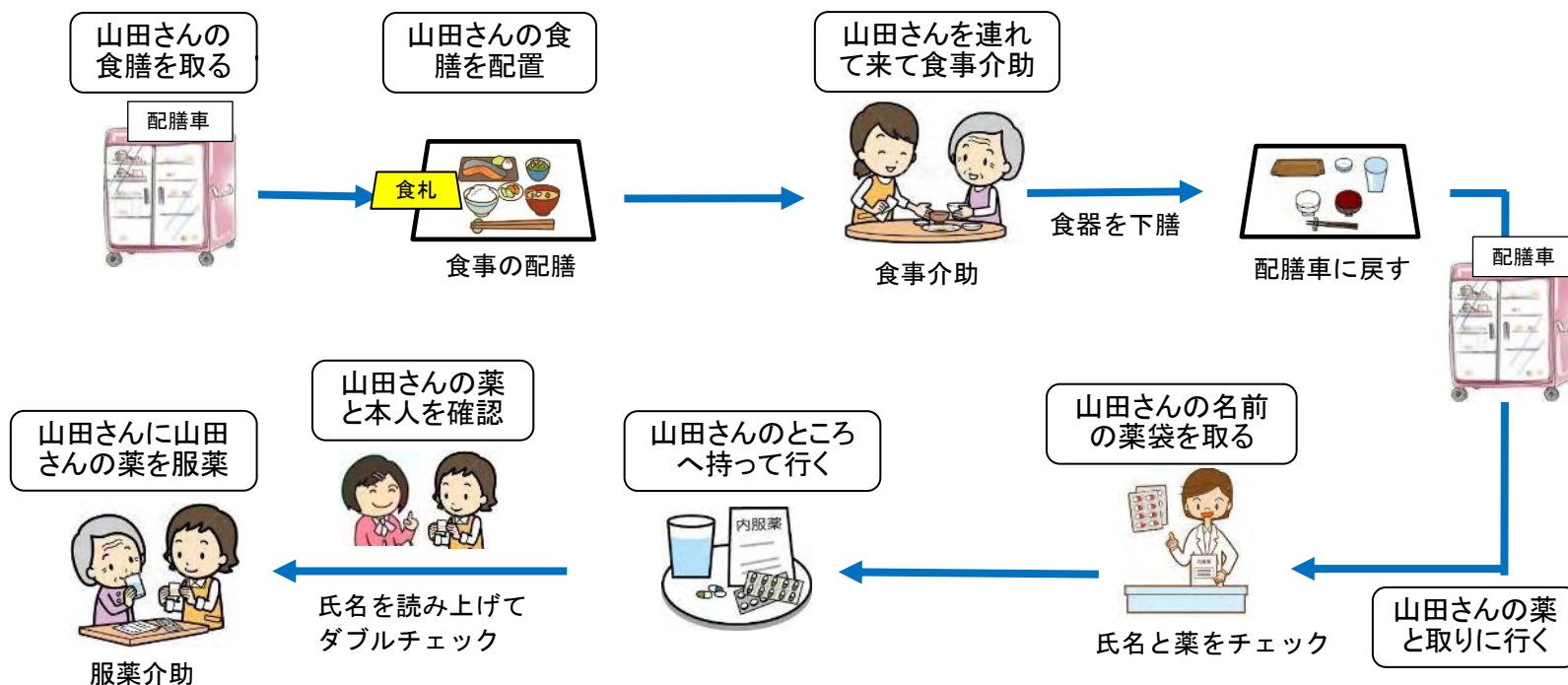
誤薬事故のリスクが高いのはどの特養か？

《5》服薬手順のどこで間違いが起きるのかを調べる

○服薬手順は？

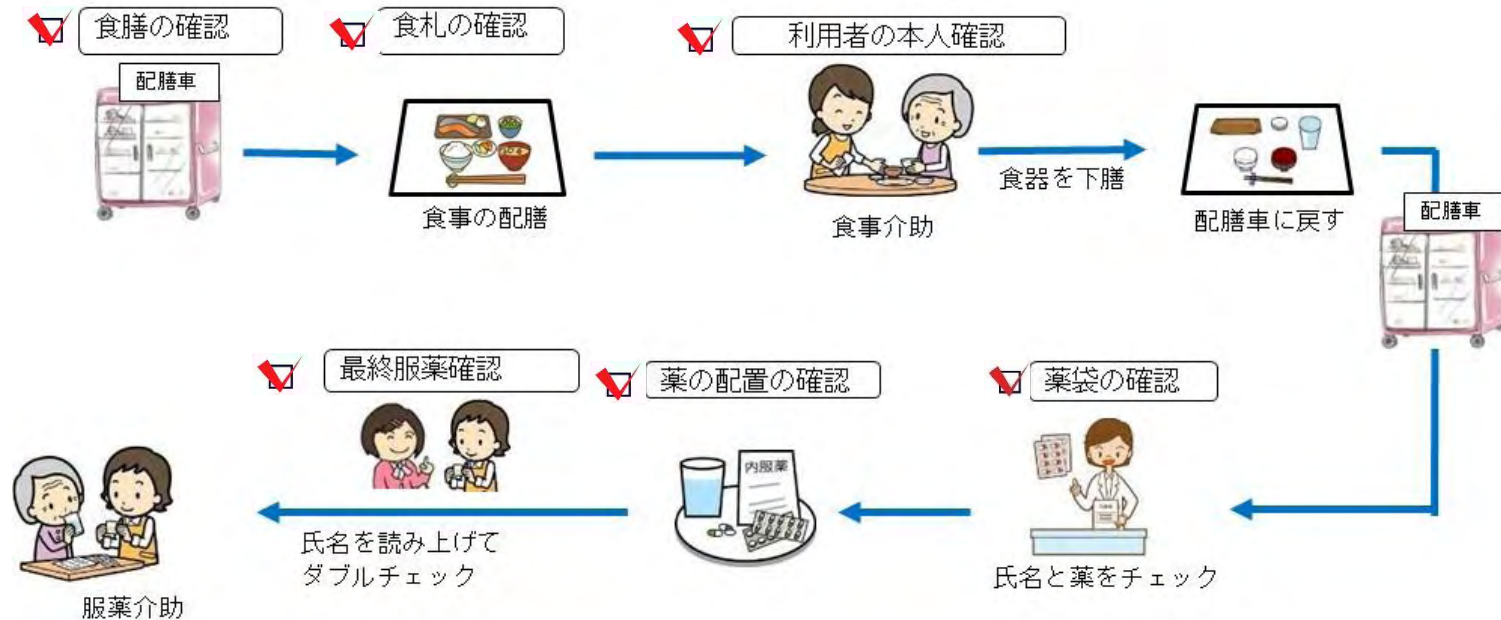
「食事が終わった人から、介護職員が食膳を配膳車到下膳し、その後「お薬カウンター」に行って薬と氏名をチェックして、水と一緒に本人のところへ持って行く。服薬の前には利用者の氏名を声に出して読み上げて職員二人でダブルチェックをした上で、服薬介助を行う。

《山田さんの食事介助と服薬介助を行う時》



▶ 1. 間違いをできる限り防ぐ手順

間違いが発生しやすい場面で間違いが起こりにくい手順を考える



▶ 2. 間違いを発見するチェックの仕組み

服薬直前の利用者と薬の確認方法の工夫
 →服薬確認シートに顔写真と薬の画像を取り込む

最終服薬確認



誤薬防止のダブルチェック→間違いが起こりにくい手順+間違いを発見するチェック

▶ ヒューマンエラーの一般的防止対策

動作と発声による確認行為

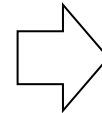
II

駅員の指差呼称(指さし確認)

- 1.目で見て
- 2.腕を伸ばし指で指して
- 3.口を開き声に出して「信号、ヨシ!」
- 4.耳で自分の声を聞く

○ 指差呼称による安全チェックの効果

指差呼称によってエラー発生率が1/6に減少



確認動作	エラー発生率
何にもしない	2.4%
呼称のみ	1.0%
指差のみ	0.7%
指差呼称	0.4%

※芳賀繁「指差呼称のエラー防止効果の室内実験による検証」より

4. 誤薬発生時の対処

《1》誤薬で発生するリスクの比較

▶ 誤薬で発生するリスクの分類：直接リスクと間接リスク

○誤薬の直接リスク ⇨ 誤って飲んだ薬によって起こる体調の変調

他人の血圧降下剤を間違えて飲んだ → 異常低血圧となり意識喪失する可能性がある
 他人の血糖降下剤を間違えて飲んだ → 異常低血糖となり意識喪失する可能性がある

○誤薬の間接リスク ⇨ 誤って飲んだ薬のよる体調変調で起こる転倒や誤えんなどの事故

他人の利尿剤を間違えて飲んだ → 脱水でめまいが起これ転倒や転落事故につながる
 他人の向精神薬を間違えて飲んだ → めまいが起これ転倒や転落事故につながる

▶ 誤薬で発生するリスクの分類：「飲み間違い誤薬」と「取り違い誤薬」

○飲み間違い誤薬：自分の薬の服用誤り ⇨ 極度の過量服薬を除きリスクは小さい

○取り違い誤薬：誤って他人の薬を飲む ⇨ 生命の危険にかかわる重大事故になる可能性がある

▶ 飲み間違い誤薬と取り違い誤薬の直接リスクと間接リスクの比較

	直接リスク	間接リスク
飲み間違い誤薬	極めて小さい	大きい
取り違い誤薬	極めて大きい	大きい